

2023年度 日本工学院専門学校											
ITスペシャリスト科											
システムアプリケーション開発2											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	税田 竜一			実務 経験	有	職種	システムエンジニア				
担当教員紹介											
AI分野に関する研究を行う。その後、大学や専門学校で非常勤講師として、Web開発やプログラミング系授業にて講義を行った経験を持つ。											
授業概要											
個人の生活に定着し、欠かせないと感じる人が多いスマートデバイスを、業務でも積極的に活用しようとする企業が増えてきている。本授業ではスマートデバイスを企業で導入するに当たり、知っておきたい基本的な用語やモバイルシステムの構成要素、モバイルアプリケーション開発の概要について学習する。この科目を受講する学生は、モバイルアプリケーション開発の基礎が理解できる。前年度までにオブジェクト指向プログラミングの基礎は習得しており、それらを活用してアプリケーション開発に取り組む。開発環境のAndroid Studioなど初めて触れる技術や知識が多くなるため、書籍やマニュアルを調べたり、自己解決力が求められる。											
到達目標											
この授業では、モバイルプログラミングの概要、モバイルアプリを支える構成要素（スマートデバイス、ネットワーク、アプリケーション、セキュリティなど）も理解する。 また、自ら企画・作成したモバイルアプリケーション（Androidアプリ）を生み出すことができる。さらに生み出したモバイルアプリを世の中にリリースしたり、アプリコンテストで発表できるようになる。具体的には、テーマ性、ユニークさ等のコンセプトと、コンセプトを実現する能力としての実装力、これらの要素をアピールするプレゼン力を身に付ける。											
授業方法											
スマートフォン、タブレット機器に代表されるモバイル機器上で動作するソフトウェアの作成について、開発環境の構築方法から、実際の開発方法について学ぶ。主なモバイルアプリケーション開発は、Android開発とiOS開発に大別され、プラットフォーム毎に開発方法が全く異なる。本講座では、実践的なAndroidアプリケーションの開発を経験する。											
成績評価方法											
試験・課題 50％ 試験と課題を総合的に評価する 小テスト 0％ レポート 0％ 成果発表 40％ 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 10％ 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業はグループで協力しながら作業を進めるため、遅刻・欠席をする場合は他のメンバーに迷惑をかけてしまうことを念頭に入れること。やむを得ず遅刻・欠席する場合は、他のメンバーに連絡を取って全体の作業に遅延を生じないようにすること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価の対象とならない。											
教科書教材											
「基礎&応用力をしっかりと育成！Androidアプリ開発の教科書Kotlin対応」翔泳社											
回数	授業計画										
第1回	モバイルアプリ開発の概要										
第2回	アプリ開発環境の作成										
第3回	ビューとアクティビティ										
第4回	イベントとリスナ										
第5回	イベントとリスナ										

2023年度 日本工学院専門学校	
I T スペシャリスト科	
システムアプリケーション開発 2	
第6回	リストビューとダイアログ
第7回	画面遷移とIntentクラス
第8回	画面遷移とIntentクラス
第9回	メニュー機能
第10回	フラグメント
第11回	データベースアクセス
第12回	非同期処理とWebAPI連携
第13回	総合演習
第14回	総合演習
第15回	総合演習